



# ゆりぐみだより

神戸幼稚園 2022年2月24日 NO. 15

まん延防止措置のために、生活発表会が延期になってしまいました。でも、子どもたちは「お楽しみが伸びた。その分みんなでたくさん劇遊びや合奏ができる！」と前向きにがんばっています♡今の状況が早くよくなり、生活発表会の日を迎えられることを願ってやみません。保護者の皆様には、毎日の検温や体調管理に気を配っていただき、本当にありがとうございます。

今年の冬は、本当に寒い日が多いですね。子どもたちは寒さに負けずに遊ぶことを楽しんでいます。雪が薄っすら積もったり、氷ができたりすると、遊びに取り入れています。今の時期だからこそ楽しい遊びも満喫していますよ🌨

## かまくら大作戦！！



園庭に雪が積もると、思い思いに遊び始めます。初めは、やっぱり雪合戦を楽しみます🌨



次はそれぞれに雪を集め始めました。すると、Aさんが「かまくら作ろう(^0^)」と言い、近くにいた子も「いいね～中に入れるのがいいな♡」「こたつとか入れたいな(^\_^♪)」とわくわくしながら、「ここにしよう！」と雪を集めます。友だちの楽しそうな様子に、周りの子も「入れて～！」とやってきました。

「雪がもっといっぱいいるなあ」と話していると、さっきまで大事に作っていた自分の雪玉を「これも部品にしよう」と運び始めました。「あんなに大事にしていたのに、いいの(°Д°)?」と思わず聞いてしまったほどです。とっても重い雪玉をみんなで必死に運びました。





「大きくなってきたな(^0^)」「もっともっと(雪がいる)！」と声をかけ合うみんなは、生き生きしていましたよ！「次、こっちに雪乗せて」「もうそろそろいいかなあ？」「じゃあ、今から穴開けるよ～！」と自分たちで考え、互いの思いを伝え合い、確認しながら遊びを進めていました。

それぞれの遊び方だった雪遊びが、「かまくらを作りたい」という共通の目的ができると、みんなで力や気持ちを合わせて作り上げていく姿になっていきました。「やったー(^0^)」「できたー！！」と大喜びの子どもたちでした。当初の「中に入りたい」という願いは叶わなかったものの、みんなで作った達成感でいっぱいでしたよ♡みんなの成長を実感し、とても嬉しく思いました(\*^-^\*)



他にも、雪だるまを作ったり、雪に絵の具で色を付けてみたりと、さまざまなことを試して、気づいて、みんなに伝えて遊ぶことを楽しみました。



## 氷遊びも面白い！！



昨年度、年長の遊びを見ていた子どもたちは、カップやたらいに入れておいた水が凍ることがあることに気づいています。「きのうは凍ってなかったのに、どうして今日は凍っているのかなあ？」と私がつぶやくと、「今日は寒いからやで！だって0度って言ったもん！」などと話していました。そこで、子どもたちと一緒に、カップなどに水を入れて準備しておきました。「凍る

かなあ

翌日登園すると、「氷見に行こー！！」と駆け出していました。



わ～(^o^\*)大きいよ！



めっちゃ紫になった！

もっと赤入れてみよ

プールに張っておいた水も凍ると、たくさん集めて遊びました。片付けの時間が近づいてきたころ・・・

「これ、給食食べた後も遊びたいなあ」「でも溶けるで」「寒いところにおいておけば大丈夫っちゃう？」などと相談していました。



そこで、どこに置いておけばいいのか、みんなで話し合っていました。たらいを持って園庭中を歩き回り、「ここは？」「ここは温かいから、あかんよ」「じゃあここにする？」「ここは太陽の光が当たってる・・・」と考えを出し合っていました。「ここいいんじゃない？」「いいなあ」とみんなが選んだのはブランコ前の日陰でした。午後も氷が残っていましたよ！

こんな時、大人が「ここに置くといいよ」と決めてしまえば、すぐ決まってしまうと思います。そうではなくて、「〇〇さんは、どこがいいと思う?」「どうしてそう思うの?」と子どもたちの考えを引き出すことで、子どもたちなりの考えがたくさん出てきます。“自分たちで決めて、試して、また考えて…”と、この繰り返しを楽しんできました。これからの小学校生活や学習でも、自分で考えて行動することを大切にしていってほしいです。

## なわとび、跳べるようになってきたよ(\*^^)v

初めはあまり興味がなかった子も、『なわとびがんばりカード』を楽しんでいる友だちの姿に刺激を受けて、挑戦するようになりました。“やってみたら少しできた!嬉しい!”という経験を重ねて、できるようになった喜びを味わっています。その子なりにがんばった姿を認め、次につなげています。



## 豆まき、楽しかったね!

2月3日の節分の日には、新聞ボールで豆まきをしました。自分のお腹の中にある鬼を思い浮かべて、鬼の顔の的をめがけて投げました。“ぐうたら鬼”“怒りんぼ鬼”“泣き虫鬼”などなど、「自分のお腹にいるかもしれないな・・・」とつぶやく子もいましたよ。

